

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 81  
R5. 1.13  
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

## 日本国憲法前文の暗唱成功!



### 短期間でのスピード達成!

今週、「日本国憲法前文の暗唱」に6年生2名が挑戦し、見事成功しました。短期間で暗唱できたことに大変驚かされたと同時に、その取り組みの素晴らしさを感じています。それは、次の三つです。

- ① 課題から逃げずに真正面から立ち向かう姿勢
- ② 挑戦すると決めたらすぐに取り組む態度
- ③ 絶対に覚えてやるという強い気持ち



【憲法前文を暗唱した6年生】

本当に“あっぱれ”です! 二人には「暗唱認定証」を授与し、その努力を称えました。

## 「字のない葉書」

～年賀状や寒中見舞いの季節に想う～



最近ではメールやSNSの利用が増えたせいか、年賀状の販売数が減ってきているようです。そう言えば、年賀状に限らず、手紙を書く機会がめっきり減ったような気がします。

◆手紙というと、私が東京で大学生活を送っていた頃のダンボールのミカン箱を思い出します。ひとり暮らしのアパートに実家から食べ物などが時々送られてきました。今頃の季節には切り餅が入っていて、一番下に母の手紙がありました。「体に気をつけて頑張りなさい」。たいていはチラシの裏に走り書き。照れくさくて電話もしませんでした。焼いた餅を食べながら故郷を想いました。

◆作家 向田邦子のエッセーに『字のない葉書』があります。戦時中、向田邦子の父は、字の書けない幼い妹が疎開するとき、宛名だけを書いたたくさんの葉書を持たせて送り出します。その際、「元気な時は大きい丸を書いて出すように」と伝えました。

丸はやがてバツになり、葉書も来なくなります。病に倒れて帰宅した我が子を抱いて父は号泣します。

◆向田邦子は手紙にいい手紙、悪い手紙はない。どんな悪筆悪文の手紙でも書かない時に書かないのは、目に見えない借金をしているのと同じだと言います。

私自身のことを振り返ると、筆不精と言い訳して、何と多くの目に見えない借金をしてきたことか。印刷の年賀状でも、せめて近況ぐらいは自ら書き添えたいと思った年末年始でした。